



群馬県建設業協会(青柳剛会長)は17日、2019年10月の台風19号で甚大な被害を受けた嬭恋村と長野原町で、災害避難所の「3密」回避などを目的に考案した段ボール製間仕切り『KAMIKABE(かみかべ)』の組み立てを訓練した。豪雨災害がことしも各地で発生する中、新たに求められるよ

嬭恋、長野原で組立訓練

群馬建協 段ボール製間仕切り『かみかべ』

うになった感染症対策にも備えるのが狙い。訓練は順次、県内すべての市町村で実施していく。

かみかべは、自然災害と感染症拡大が同時発生する事態に備えるため、群馬建協が6月に製品化した。サイズは1辺2・1mの正方形で、高さは1・5m。居住スペースを柔軟に拡張できたり、照明やハンガー、扇風機などを取り付けて空間を自在にアレンジできるのも特長の1つだ。

正規品納入後、初めての組み立て訓練となった嬭恋村では、開会に当たり群馬建協の池原純吾妻支部長が「行政と建設業界の『地域を守る気持ち』がより一体となる機会になれば」と期待を込めた。熊川栄村長も見守る中、村職員らは群馬県建設業青年経営者部会メンバーの手ほどきを受けながら、

組み立て作業を体験した。写真。その後、長野原町でも同様の訓練を実施した。

群馬建協は県内12支部に配備し、災害時の状況に応じて近場で融通し合う「分散備蓄方式」を採用する。県内では既に、複数の自治体で導入が進んでいる。青柳会長は県内各地での分散備蓄を通して、「県内の災害対応組織力が向上するきっかけになれば」と考えており、いずれは隣県との広域連携も視野に入れている。

かみかべは、群馬県建設業協同組合を窓口一般販売もしている。価格は1ユニット1万1000円(税別・送料別)で、注文は5ユニット以上から。20年7月豪雨で被災した熊本県などにも送られている。

水害・感染症に備える

協
建
支
部
妻
群
吾

婦恋と長野原で訓練

KAMIKABEを組立



池原支部長



熊川婦恋村長

群馬県建設業協会吾妻支部（池原支部長）は17日、婦恋村と長野原町でKAMIKABEの組み立て訓練を実施した。婦恋村では複数のKAMIKABEを組み立て、役場職員が手順を建設業協会青年部の会員などから

学んだ。

訓練の冒頭、池原支部



婦恋村での訓練の様子

長は「昨年は台風19号が発生し婦恋村でも大きな被害が発生した。このような訓練を通じ、災害に備えたい」と述べた。

熊川栄婦恋村長は「群

馬県建設業協会の青柳会長をはじめ、青年部の方々など多くの方々にお集まりいただき訓練できることに感謝したい。有意義な訓練にしていただければ」と話した。その後、会場を長野原町へ移し、同様の訓練を行った。

恋 嬌

新型コロナウイルスの感
染拡大に伴い災害避難所
の「3密」対策の必要性が求
められる中、県建設業協会は17日、
熊谷市の恋嬌会館で、協会が開発
した段ボール製の間仕切り「KA
M I K A B E」の組み立て訓練会
を開いた。村職員ら約20人が設置
方法を学び、緊急時に備えた。
3人程度のグループに分かれた
職員らは、同協会の青年経営者部
会のメンバーの指導を受けなが

間仕切り設置 手際良く

県建設業協会が訓練会

ら、組み立ての手順などを学
んだ。写真。参加した職員は
「組み立て方法や完成イメー
ジが分かれば、スムーズに組
み立てられそう」と話してい
た。

村は50セット購入し各避難
所に配備。今後、職員らが各
区に向いて組み立て方法な
どを指導する予定だという。

熊川栄村長は「昨年は台風19
号などで、村に大きな被害が
出た。新型コロナが猛威を振
るう中、3密対策は必須。し
っかりと備えたい」と話した。
この日は、長野原町でも同
様の訓練会を開催した。

